

VOLVO

140

series



たゆみないボルボの努力——自然と共に生き、人間らしさを失わずに豊かな生活を守ろうとするスウェーデンで生れ、育まれて来たボルボ、当然かも知れませんが今世界の人々が本当に願っていること、それをボルボはまじめに追求してきたのです。そして1974年のボルボは、またまた新しい安全性の増進と、確実な排出ガス対策により、現代の要求に、よりピッタリの高品質車として結実しました。

高品質—高い安全性—今年のすべての改良点、特徴はこの2点に集約されています。しかも実用的な中型車に要求される諸条件—例えば経済性、実用性などを、すべてかね備えております。



Volvo 144 and 145 de Luxe



Volvo 144 Grand Luxe

Volvo cares for the driver

見るからにボルボらしい内装は、北欧独特のシンプルでデザインで重厚な持味を強調しています。

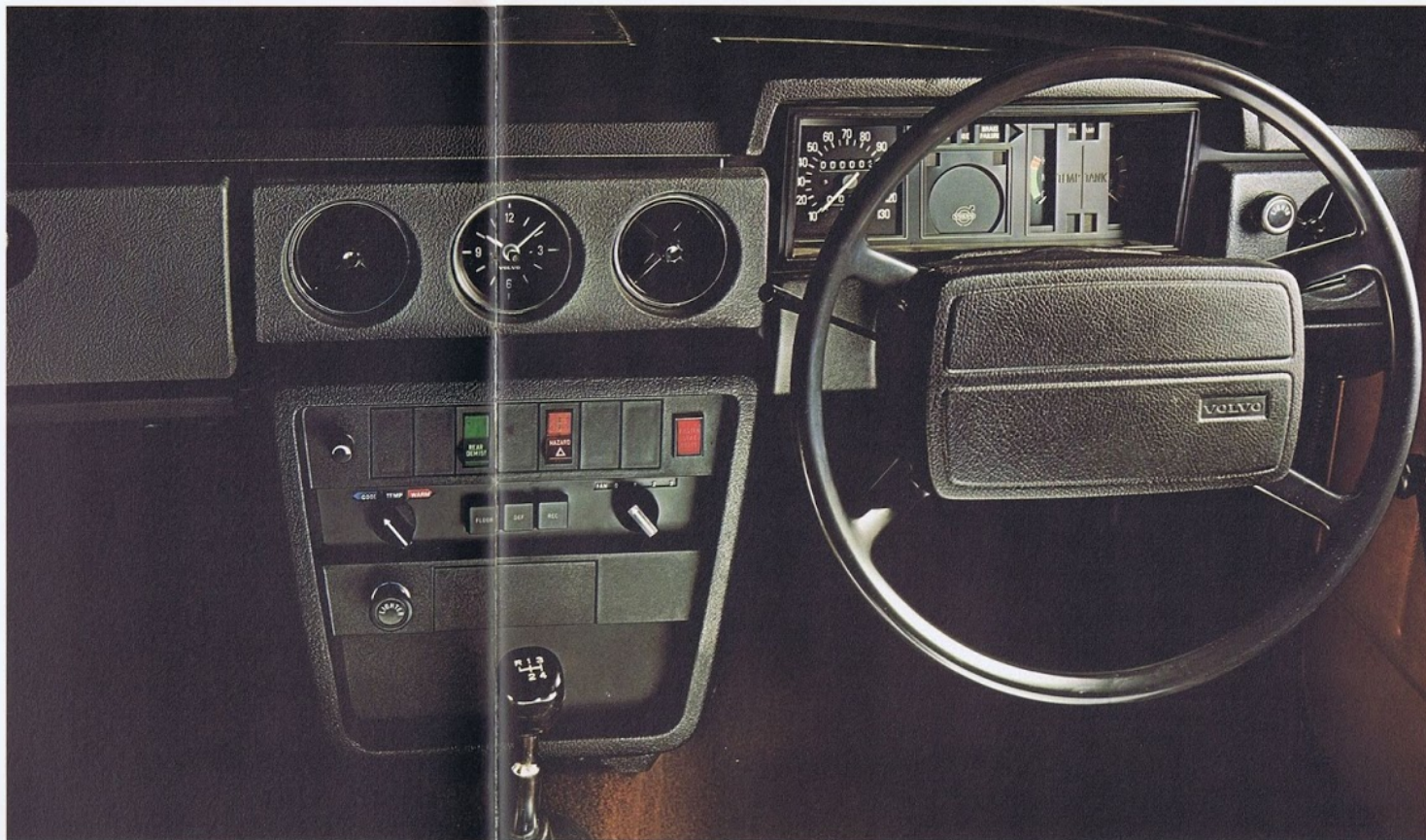
'74のハイライトは、メーカー組込みによる純正エアコンディショナーの採用です。ヒーター機構と一緒に作動するボルボ独特のコンバインドユニットによる完全エアコンディショナーで、安全性の面でも、健康管理上の点でも、単なるカークーラーとは違って理想的な温度と湿度のエアディストリビューションが得られます。



ボルボの最大の特徴のひとつにシートがあげられます。このクラスにしてはぜいたく過ぎるとまでいわれている程、至れり尽せりです。リラックス出来るタププリした肉厚のシートで、上下、前後の調節は勿論、フルリクライニングで、バックレストの腰の部分の張り具合も調節出来ます。なぜこんなにもシートに凝るのでしょ。——当然です。北欧は1年の中半は雪と氷に閉ざされ、居間でくつろぐ生活の伝統が、北欧のすぐれ



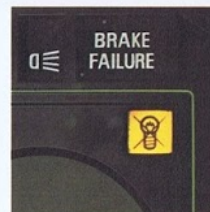
た家具を生み出したのですから。
'74ボルボのシートには幾多の安全性がこめられています。



シートの前後のスライド機構は、左右どちらの手でもワンタッチハンドルにより瞬時に操作可能、ストッパーも2本のレールに作用する設計なので、安全性が更に向上しています。背もたれは、無段階のフルリクライニング調整で、腰部に当たる部分も、張り具合が調整出来ます。シートの高さ自体も3段階に調節出来ますので、ご自分の体格に合せて調整して下さい。



シートベルトを締めましょう。運転される方も、助手席の方も、シートベルトを締めないと赤い警告灯がいつまでも消えません。



今年の新しいボルボの安全性の特徴—バルブインテグリティセンサーにより、走行中(殊に夜間)ヘッドライト(下目)・テールライト・ブレーキライトなどのうち、1灯でもバルブ切れを起しますと、計器板上の警告灯



ボルボのハンドルの切れの良さは抜群——回転直径は9.6メートルなので、ちょっとした小型車なみです。



There's more room here than in most other cars in the same class

ボルボの室内の広さは定評があります。これは車両の設計そのものが、ボックスタイプのためということもあるでしょうが、フロントシートは勿論のこと、リヤシートのスペースも、この種のクラスの

車にしては極めてユッタリしたスペースをもっています。'74からデラックスモデルには2種類の内張りを採用しています。

○ボディ色、ダークブルー・ダークグリーン・ダークレッド・ダークイエローには従来通りソリッドトーンの布張り。オレンジ・ライトブルー・ホワイトとライトイエローの一部には今年新しく、北欧調のストライプ模様の布張りが装着されました。

材質は何れも燃え難いものを使用しています。(残念ながらこのカタログの上の写真はビニール張りのシートで、本物の布張りのエレガントなシートをお見せ出来ませんが、現物を是非ご覧下さい)



ボルボのヒーター／ベンチレーター機構は大変ユニークで使い易く設計されています。全体的には、スルーフローベンチレーションシステムですが雪国育ちのボルボなので極めて合理的に出来ています。今年から純正エアコンディショナーが、スタンダードになりました。○フロントウィンドウ・ダッシュボード・フロア合計10ヶ所の吹出口を自由にコントロール出来ます。

○エアコンディショナーは、ヒーターとクーラーを同時に作動出来ますので、一年のうち、オールシーズン有効に使えます。○プロアモーターは3段切換えの強力なものになりました。○熱線入りリヤウィンドウは、ボルボにはすべてスタンダードです。○リヤウィンドウ下の換気孔は、内から外へだけ通風し外からの逆流はありません。

ボルボの異常なまでのスペースの広さは室内のみではありません。トランクのスペースをご覧下さい。全部で615 dm³もあり、大型米車なみに沢山の荷物が入ります。これもボックスタイプのトランクデザインのお蔭です。'74モデルから夜間、ライトスイッチを点灯している間は、トランク内部も照らされていますので、大変便利になりました。



Power at all speeds

ボルボの走行性能については、これも世界中に定評のあるところです。

エンジン自体は、何の変哲もないオーソドックスな4気筒のオーバーヘッドバルブのエンジンです。

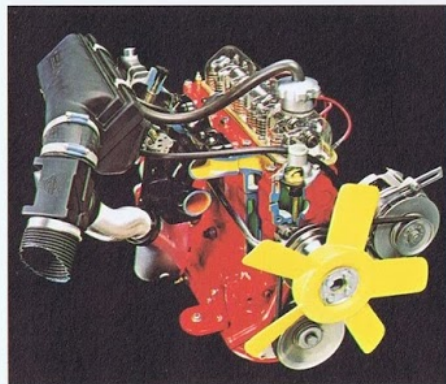
最近の自動車のエンジンは、先を争ってオーバーヘッドカムとか、ダブルオーバーヘッドカムとか、流行を競う傾向がありますが、ボルボだけは違います。昔なつかしいP V 544の“通称ダルマ”の時から、エンジンの基本設計は変更なく、頑くたと思われる位、このオーソドックスな“赤いエンジン”を守り続けているのです。

そのくせ、ボルボ特有のネバリのある高出力は、このクラスのどの車にも負けない高性能を発揮しているのには驚かされます。

フレキシブルなエンジンだけではありません。

エンジンの高出力に見合うだけの足まわり——ロードホールディングもまたすぐれた性能をもっています。

つまり、全輪に装備されたコイルスプリングと、スピードラジアルタイヤの組合せにより、高速時のコーナリングのときでも、すばらしい乗心地の良さ、確かなロードグリップとが、理想的なボルボの重量配分と相俟って、際立った走行安定性と機動力を発揮しているのです。



エンジンにお話しを進めましょう。

ボルボという車がモータリストの間でこんなにも信頼され、評価されて来た理由のひとつに、ボルボエンジンの優秀性があげられます。その最も大きいメリットは——タフなエンジンだ——ということではないでしょうか。タフ、余りにもタフなエンジン、従って寿命も長く、ボルボ愛好者が次第に殖えてゆく背景には、このたゆみないボルボエンジニアの努力と成果に負うところが多いのです。

'74モデルからボルボ 144 デラックスには、業界でも珍しいCIエンジン——CONTINUOUS INJECTION——（連続噴射エンジン）を搭載しています。従来のEエンジンと同じく燃料噴出式ですが、Eエンジンのコンピューター制御方式に代り、機械的（物理的とも言べきでしょうか）制御方式になり、ボルボ技術陣の努力により、性能をアップしながらもお排出ガスをよりきれいにすることに成功したのです。その結果

1. より強力に
2. より弾力性に富み
3. より静かで
4. より長期の使用に耐え
5. よりきれいな排出ガスを

全く、3拍子も4拍子も揃ったエンジンを創造したのです。



トランスミッションは、前進4速後進1速がスタンダードですが、勿論オートマチックトランスミッション付きもお選びになれます。いずれをお選びになっても、エンジン出力にマッチしたトランスミッションで、その使い易いことと、無駄のないことでボルボを更にエンジョイされることうけ



ボルボのヘッドライトの優秀性は夜間のドライブの時発揮されます。対向車に逢ってロービームに切換えた時、光束が拡散しません。これもボルボのかくれた特徴のひとつです。

Look through a Volvo and see what safety really means

ボルボが改良点として、新車に採用する場合、必ずそれは、何らかの形で、安全性の向上につながっています。

“74モデルの場合も例外ではありません。ちょっと数えてみましょう。——

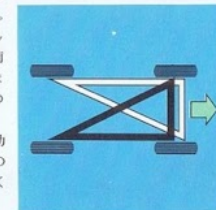
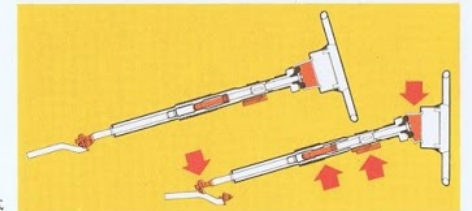
丈夫なバンパー、燃料タンクの前方移行、ボディメンバーの強化、新しいステアリング機構 etc.。

“74ボルボは更に魅力的な車になりました。とはいっても、何も目につく所だけではありません。ボルボは常にかくれた所にこそ、車の基本的安全性が秘められているのが自慢なのですから——

例えば

- 安全ボディ構造
 - 三点支持イナーシアタイプシートベルト
 - トライアングル式2重回路ブレーキシステム
 - 衝撃吸収式ハイインパクトフロントガラス etc.——
- いずれもボルボらしい装備品と申せましょう。

ある一定の衝撃を受けますとステアリングコラムは従来通 92本に分割されますが、74年モデルから新たにステアリングシャフト途上に、ベロース状の緩衝管がつけましたので、ドライバーに対する安全性が更に向上しました。



ボルボ特有のトライアングル式2重回路のブレーキシシステムもまた、ボルボならではのもの。2重回路のうち1回路が故障しても、あとの1回路、つまり前輪2輪を含む3輪が効いていますので、万一の場合でも80%の制動力を保持します。つまり50%の故障でも80%の効力を発揮するまことに使う者の身になって設計されたぜいたくな装備です。

室内を保護する強靱な鉄カゴ

追突による被害を防止するための燃料タンクの位置

ネジれに対し、抵抗を発揮する車体後部パネル

車体前後の強固なボディメンバー

イナーシアタイプの3点支持シートベルト

安全パッド

ドライバーの胸部を保護する安全ステアリング

三角窓なしのワンピースウィンドウ

ボディに“ちかづけ”されたハイインパクトウィンドウガラス

丈夫で厚いボディパネル

チャイルドプルーフドアロック (幼児安全用)

側面よりの衝撃に備えるサイドインパクトバー

安全ドアロック

シートガイドレールのツイインロックキャッチ

防錆のため、通風孔のあるドアシル

衝撃時にはスライドするスリップアンカレッヂ

衝撃吸収用のステアリングシャフト

衝撃時には外れるステアリングコラム

燐酸塩処理の防錆ボディ部分

肉厚で丈夫なバンパー

Volvo 144 de Luxe



There's not much to add

ちょっと気をつけてご覧頂けば、ボルボには種々のアクセサリーが始めから装着されていることにお気がつかれると思います。

○熱線入りリヤウインドウ、フルリクライニングフロントシート、オーソペディックアジャストメント（腰の張り具合の調整）、イナーシアタイプシートベルト、フルカーペット、ハイインパクトガラス——

まだあります——

電気時計、バルブインテグリティシステム、エアコンディショナー、ティントッドグラス——

ちょっと数えてみても、これらが大変ぜいたくな附属品だということがお判り頂けると思います。

スピードラジアルタイヤ、4輪マッドフラップ、それに防錆性に富む樹脂系のエナメル塗装——

キリがありませんのでこのへんでやめましょう。

あとはご自分でお試し下さい。

走行中のボルボのスタイルは、一種独特の精悍でダイナミックな性格が益々強調され、伝統のある北欧のボルボらしい持味をかもし出しています。運転される方々も、ハンドルを握られれば、ボルボの特性をしみじみと味わって頂けることでしょう。





Two good cars in one

ボルボファミリーワゴンには、益々その用途の広さの故に、ご使用になる方が殖えています。セダンとしての機能プラス広い荷物室、しかも荷台は小綺麗な絨毯張りです。

リヤシートは折り畳めば、更に広い荷台が得られ、長尺物の収容が容易になります。

残念ながら'74モデルは日本には計画的輸入販売はしておりません。最近週休2日制の実施と大型レジャーの普及に併せ長距離ハイウェイの完備によって、中型ファミリーワゴンの需要が高まっています。1台で2台分のお役に立つボルボ145が皆様のお役に立てる日を楽しみにしております。



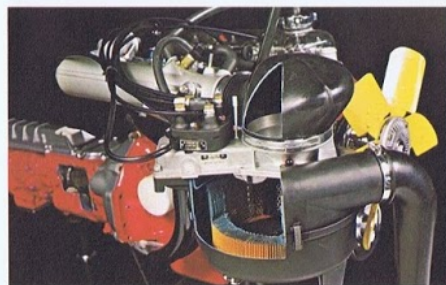
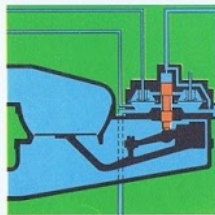
A Volvo isn't a standard car. And the Grand Luxe isn't a standard Volvo

実用的なボルボ144デラックスに加え、更にスポーティな性格を強調したボルボ 144 グランルックス (GL) をご紹介しましょう。

写真でごらんの通り次の諸点がデラックスと異なっています。

- 純正黒革張りシート
- グランルックスエンブレム
- 深いメッキのホイールハブキャップとナット
- リヤシートヘッドレスト

車の内部ではエンジンの性能を把握するのに容易のように、このモデルには、回転計が装備されています。



エンジンは74モデルから新たに開発されたC1エンジン（連続噴射エンジン）を搭載、またひとつボルボの時代に先駆ける積極性が反映されました。

- 従来通りの伝統的なオーバーヘッドバルブ エンジンは不変です。
- ボッシュ社開発のC1システムを取付けただけです。

その作動原理は簡単に言えば
○エアの吸込みにつれてフローティングディスクが上下します。
○ディスクと連動する燃料供給プランジャーも、それにつれて上下運動し、燃料を圧送します。

原理的にはそれだけのことですが勿論
○コードスタートデバイス（チョークの役をするもの）

- 燃料ポンプ（4.5キロ/cmの圧力で圧送）等の補助調整装置により作動を完全なものにしています。
- 特徴として従来のEエンジン（電子コントロール式燃料噴射エンジン）に比べ
○従来と同じ高出力、高トルクを維持
○排気ガスがより綺麗
○音が静か
○電気部品が少ないので保守が容易

精悍さを強調する黒皮張りのインテリアが特徴です。日本に輸入されるものにはリヤシートにヘッドレストがスタンダードで取付けられます。



Data

仕 様

エンジン

水冷直列4気筒オーバーヘッドバルブ5
ベアリングクランクシャフト
最高出力 110PS/6000 rpm
(SAE)

最大トルク 16.0kgm/3500 rpm

圧縮比 8.7:1

気化式 燃料噴射式

冷却方式

完全密閉式ラジエーター 容量 10リッ
ター

電気系統

12ボルト60アンペア時 オルタネーター
55アンペア

トランスミッション

ダイアフラム式スプリングタイプクラッ
チ、前進4速後進1速、フルシンクロメ
ッシュギヤボックス、オプションとし
て、オートマチックトランスミッション
付もあります。

ギヤレシオ	1	3.41	2	1.99
	3	1.36	4	1.00
後退	3.25			

ステアリング

カムアンドローラー式
テレスコープ型安全ステアリングコラム

サスペンション

フロント：ラバーマウントによるコン
ロールアームとスタビライザ
ー付独立懸架装置

リヤ：ラバーマウントによるコン
ロールアームとトルクロッド
付リジッドアックスル。ラバー
マウントによる横置きトラ
クロッド、全輪テレスコープ
型ショックアブソーバー付コ
イルスプリング

ホイールとタイヤ

スピードラジアルタイヤ 165×15
ホイール 5JX15

ブレーキシステム

サーボアシスト付トリアングル式2重
回路ブレーキシステム、全輪ディスク
ブレーキ、急ブレーキ時の後輪ロックを
防ぐ為のリリーフバルブ付、後輪にはハ
ンドブレーキ用特殊ドラム

燃料タンク

容量 60リッター
タンク位置 後部アンダーボディ下部

計器類

安全パッドのダッシュボード、抵抗式計
器灯、6桁表示トリップメーター、燃料
計、水温計、各種警告灯（チャージン
グランプ、油圧計、チョーク、ハイビーム、
パーキングブレーキ、ブレーキサーキッ
ト、パルプインテグリティセンサー）、方
向指示灯、グローブボックス灯、イグニ
ッションとステアリングの同時ロック。
センターコンソール上にはリヤウイン
ドウの熱線スイッチ、4方向警告フラッ
シャー、シートベルト装着警告灯、ヒー
ター・換気用スイッチ、シガライター、
ラジオ

その他の付属品

方向指示器・ビーム切換え・ヘッドライ
トフラッシャーのコンバインドスイッチ、
ウインドシールドウォッシャー付2連の
ウインドシールドワイパー、バックア
ップライト、前席用シートベルト、後席シ
ートベルト用留金、衝撃吸収用ハイシ
ンパクトフロントガラス、パッドサンバイ
ザー、バックミラー、リヤドアに組込
の灰皿、調整可能ヘッドレスト

寸法諸元

全長：4,695mm
全巾：1,695mm
全高：1,470mm
ホイールベース：2,620mm
軸距：1,350mm
回転直径：9.6m（タイヤ外側）
10.3m（ボディ最端部）

室内寸法

ベッドルーム 前 95cm
後 89cm
シート巾 肩部の巾 139cm
フロントシート深さ 49cm
巾 57cm

トランク容量

615dm³

車体重量

1,250kg
(燃料満タン時)

このカタログに記載された諸事項（色、
材質、装備品、諸元等）は、予告なく変
更することがありますので、ご諒承下さ
い。



There are many useful genuine accessories for your Volvo



日本で販売するボルボには高
品質のデンオトラジオが標
準装備です。AM-FM2バ
ンド電動アンテナ付です。



またステレオ演奏をお好み
の方には、同じくデンラジ
オステレオもお求めにな
れます。AMバンドとステ
レオのコンバインドユニ
ットですが、FM、カセ
ットの場合はアダプター
の使用によりそれぞれお
楽しみになります。



ボルボ純正チャイルドセーフティ
シートは身長117cm（大体6〜7
才位）までご使用になれます。車
の進行方向と逆方向にセットしま
すが、これはボルボセーフティセ
ンターでテストし、スウェーデン道
路保安局により認められたもので、
テストの結果では時速50キロの事
故の場合でも、このシートにより
人体は前後左右なんの損傷もうけ
なかったといっています。



ボルボ145のリヤカーゴスペースに
アームレスト付の子供用シートを付
けることも出来ますが、現在の所輸
入計画はありません。

総販売元

株式会社

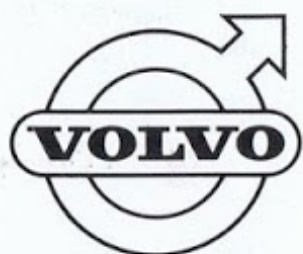
ヤナセ

東京都港区芝浦一丁目6-38
TEL 03-452-4311(大代表)

総輸入元

株式会社スキャンジナビアン・モーターズ

取扱店



VOLVO

AB VOLVO GÖTEBORG SWEDEN